



5月16日に保護された仔ネコ（写真提供：「しょうとく庵」辻口さん）

2018年6月1日、国は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録推薦を取り下げました。これは、世界遺産委員会の諮問機関である国際自然保護連合(IUCN)による調査報告書で、延期が相当と勧告されていたことを受けての判断でした。

JTEF西表島支部やまねこパトロールは、西表島の世界遺産リスト一覧表記載推薦について、IUCNへ2つの意見書を提出し、推薦地の拡張や西表島への入域制限およびフィールド毎の総量規制の必要性などを訴えてきましたが、今回の調査報告書では、まさに同様の指摘がなされています。特に観光管理については、現在においても重大な問題と強調されていることから、関係機関は勧告に従い一刻も早く対策に取り組む必要があります。

国は、再スタートを切り、来年2月1日までの推薦書の再提出と確実な登録を目指したいと述べていますが、そもそも世界自然遺産の制度は、その遺産の保全をはかることを目的としています。登録を急いだ方がよいのかどうかは、現状での登録が自然保護にプラスなのかマイナスなのかで判断すべきです。少なくとも西表島については、観光客増によって走る車の数が増えるリスク、壊れやすい生態系への入り込みも増えるリスクに対して、現状「丸腰」の状態です。IUCNの延期勧告は対策準備の猶予をくれたものと捉え、西表島を含めた各地域が対策(西表島では特に観光客の総量規制の仕組みの導入)を急ぎつつ、その実際の進捗に応じて、再推薦のタイミングをはかるのが本来のあり方というべきでしょう。

世界自然遺産登録推薦取下げ後の西表島： IUCNの指摘を厳しく認識し、観光客の総量規制を

西表島等の世界自然遺産登録推薦を評価した国際自然保護連合(IUCN)の報告書は、西表島についても重要な課題を指摘しています。

- ①「北部および北西部の重要な河川流域の推薦地への編入」が必要である。
- ②観光利用による生態系のかく乱が現在においても重大な問題であり「島および特定地域の(観光客の)収容限界の設定を含めた包括的な観光利用計画を立て、緊急に取り組むべき」。

世界自然遺産登録が遅延になっても、国や県からは「思い切った」と言えるほどの自然保護強化策は聞かれません。環境省は「自然を保護する仕組みを手に入れたい」と口では言うのですが、自ら観光客の入域を規制する権限はありません。沖縄県は、エリアごとの観光客の収容限界を念頭に置いた持続可能な観光振興計画を立てるべきですが、現行の関連計画では、ほとんど観光客を増やすことしか念頭に置かれていません。

結局、現場で起きるオーバーユースの未然防止は地元の竹富町がやるしかありません。その意味で、竹富町長が「入域客の規制も含めた見直しが必要」と6月2日の地元紙(八重山毎日新聞)でコメントしたことは、非常に重要な一歩だといえるでしょう。

西表島の自然の過剰な観光利用(オーバーユース)への対処は、もはや掛け声から実行の段階に移ったのです。しかし、竹富町によるフィールドへの立

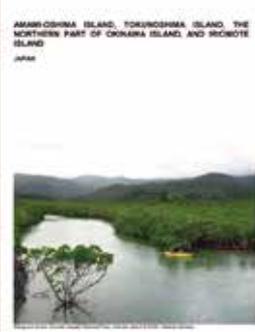


6月2日八重山毎日新聞記事
(写真右は竹富町長のコメント)

今後の課題については「ガイド認定の問題や動物、ヤマメコノ保護、入域客の規制も含めた見直しが必要」と述べ、昨年、豊

入り制限が実現されるためには、国有林の地主である林野庁が自治体(竹富町)の取組みに理解を示すことが必要ですし、観光業者との調整も必要になります。すべての関係者は、IUCN勧告の重みをよく認識し、総量規制導入へ一丸となって進んでいくべきです。

JTEF西表島支部やまねこパトロールは、「自然環境の変化と観光事業者の実態を正確に把握し、各フィールドの収容力を考慮してどれだけの人を受け入れられるかを設定することは、自然環境を保全し、住民の生活を守ることにもつながる」という認識のもと、各機関へ提言を続けていきます。



IUCNの報告書の表紙(左)と日本の登録推薦に関する報告箇所(右)

母ネコの交通事故死の後に、子ネコ2頭を環境省が保護

5月4日、浦内集落東側の県道上で、メスのヤマメコが交通事故で死亡しました。お乳が張っていたため、授乳中の仔ネコがいるのではないかと推測されていました。



それから5日ほどして、住吉の町道で子ネコ2頭の見撃情報が環境省に寄せられたそうですが、その後、付近で仔ネコを見たという人が続々と出てきました。やまパトにも仔ネコが1頭、5分ほど路上をフラフラしていて、カラスに追いかけていたという情報、明るい時間にも現れているという情報などが地域の方から寄せられました。

そこで、やまパトは付近で夜間の緊急パトをその後の数日にかけて実施しました。



5月13日、浦内集落内で衰弱した仔ネコ(メス)がレストラン「キッチンイナバ」の駐車場で発見され、環境省によって救護されました。

さらに15日、同じく浦内集落の民家の庭で2頭目の仔ネコ(オス)が環境省に救護されています。

救護された場所が極めて接近しており、4日のメスネコの事故現場にも非常に近いことから、おそらく2頭の仔ネコは死んだメスネコの子どもで、きょうだいなのでしょう。

2頭は、環境省西表野生生物保護センターの施設内で回復に向かっていく様子です。人慣れない状態で無事野生復帰できる日が来ることを祈りたいと思います。



救護された2頭目のオス仔ネコ

この環境省が保護中の仔ネコの(多分)母ヤマメコが死んだのが4日ですが、16日にはサキンダ橋とユツンの間で、白骨死体が歩道で発見され、今年確認された交通事故は4件になりました。国が世界自然遺産への再チャレンジを進める中、やまねこパトロールは、関係機関、特に地元竹富町と緊密に協力し合い、効果的な交通事故防止対策をまとめたいたいと考えています。

第3回「イリオモテヤマネコの日」に 記念イベントを行いました

石垣島の離島ターミナルで パネル展示

ヤマネコの日の前日である4月14日、竹富町役場と共催で、イリオモテヤマネコの保護活動を紹介し、自動車を運転する際には、路上のヤマネコに注意すること、スピードを出しすぎないことを訴えるパネル展示を石垣島の離島ターミナルで行いました。この展示は2週間続きました。



「1965 ヤマネコ発見の地」 モニュメントの除幕式に参加

イリオモテヤマネコの日、東部の南風見田の浜で、「ヤマネコ発見の地」モニュメントの除幕式が開催され、理事長の戸川が来賓に招待されました。実は、53年前、動物文学作家の戸川幸夫が島を訪れた時、当時の中学生達がこの浜で捕まえたヤマネコの全身骨格を戸川氏に提供し、それが新種記載されたイリオモテヤマネコのパラタイプ標本となったのです。イリオモテヤマネコは、地域の方たちの協力によって世に知られ、今日の島のシンボルになったのです。



記念シンポジウムの開催

「世界自然遺産登録：屋久島の教訓と西表島へのメッセージ」

2018年4月15日、西表島西部の「わいわいホール」で、記念シンポジウム「世界自然遺産登録：屋久島の教訓と西表島へのメッセージ」を開催しました。大牟田一美氏(屋久島うみがめ館)と高山雄介(やまねこパトロール)の対談、その後の会場とのディスカッション、という構成です。狙いは、屋久島の経験から学び、世界自然遺産に登録されようとしている西表島の課題を明らかにすることでした。



対談の中で明らかにされたのは、「西表島の方が屋久島より観光客増加のおそれ強い」、「遊歩道やトイレなどの観光用インフラ整備は、さらなる観光客の増加を招き、整備と管理の『いたちごっこ』になる」、「解決策は、観光客の総量規制=フィールドごとの立入り制限+入島制限である」といったことなどでした。屋久島の大牟田さんは、屋久島での経験から、観光客、ガイドが大きく増えた後では総量規制の導入は難しい、今やらないと取り返しがつかない状態になると指摘されていました。

確かに、自然地域への観光客の本格的な総量規制は、日本でほとんど例が存在しません。とはいえ、国は、来年2月にも世界遺産登録推薦に再チャレンジすると公言している状況です。世界遺産効果による観光客倍増は2年間足踏みすることになったとはいえ、2年などあつという間です。効果的なフィールドごとの立入り制限を行うことによって観光客の総量規制が実現されるよう、JTEF西表島支部やまねこパトロールはこれからも関係機関にはたらきかけていきます。



4月18日付八重山毎日新聞記事

ご支援のお願い

- 西部地域 定例パトロール -

今年は、5月末までで4頭のヤマネコの交通事故死が確認されています。そのうち3件が西部地域で発生しています。2頭の仔ネコを残して死んだメスネコがはねられたのも西部です。これは今までにないことで、定例の夜間パトロール北岸エリアに集中していました。しかし、現状を考えると、別働隊による西部の定例パトロールが必要です。ご支援、よろしくお願いします！

目標：30万円

=50回(日)分の夜間パトロール費用

1回あたりの夜間パトロール費用：6,000円/回

使い道：日当(2人1組。3時間)、ガソリン代、
自家用車使用料



ご報告
**チャリティー
 パーティー**
 2018年
 6月2日(土)
 ビヤステーション恵比寿にて



「JTEFの活動を支えるチャリティー実行委員会」が開催するチャリティー・パーティーに、たくさんの賛同者やサポーターの方々にお越しいただきました。今年はゲストにポリウッド・ダンサーのアンジェラ・ラーガさんをお迎えし、ドネーションでもたくさんの方々からご協力いただき、とても賑やかで楽しい会となりました。みなさま、どうもありがとうございました。

○ドネーションについてのご報告○

A トラ

カジランカのトラ ©WTI

パトロール装備・技術訓練費用
 (目標300,000円)

B ゾウ

カジランカのゾウ ©Jose Louise

傷ついたゾウのレスキュー費用
 (目標300,000円)

C イリオモテヤマネコ

◎田口美香

観光客増に伴う課題調査費(屋久島)
 (目標300,000円)

**C 緊急支援
 イリオモテヤマネコ**

西部エリア夜間パトロール費用
 (目標50,000円)

当日出席して下さった
 方々からいただいたご寄付

- A 30,500円
- B 37,500円
- C 2,000円
- ◎緊急支援.....35,500円
- 無指定 1,000円
- 計 106,500円**

パーティーに参加されな
 かった方々からJTEFに
 およせいただいたご寄付、
 その額も含めると、

- A 284,500円
- B 261,000円
- C 190,500円
- ◎緊急支援... 35,500円
- 無指定 17,000円
- 計 788,500円**

以上のご寄付は全額、「実行
 委員会」からJTEFにご寄付
 いただきました。

JTEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、法人・団体からのご寄付、助成金、チャリティー・イベントでのご寄付で運営されています。たくさんのご寄付を、どうもありがとうございました。いただいたご寄付の最終的な決算の内容は、2019年2月発行予定の「年次報告書」(トラ・ゾウ・イリオモテヤマネコ・JTEF全体の4種)でご報告いたします。

【JTEFの賛同者】

- 相澤登喜恵さん(動物肖像画家), 新井晴みさん(俳優), 安藤元一さん(ヤマザキ学園大学教授), 池田卓さん(シンガーソングライター), 井上奈奈さん(現代アーティスト), 岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問), 牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟理事長), 大森享さん(北海道教育大学教授), 岡田彰布さん(野球評論家), 小川潔さん(東京学芸大学教授), 加藤登紀子さん(シンガーソングライター), 蟹江杏さん(版画家), 見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト), 巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト), 小林裕児さん(画家), 権藤真禎さん(社団法人兵庫県自然保護協会理事長・元神戸市立王子動物園園長), 坂本美雨さん(ミュージシャン), 沢田研二さん(歌手), 瀬木貴将さん(ミュージシャン), 田中豊美さん(動物画家), 田中裕子さん(俳優), 田畑直樹さん(葛西臨海水族園園長), 土居利光さん(前恩賜上野動物園園長・日本パンダ保護協会会長), 並木美砂子さん(帝京科学大学教授), 根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士), 南ぬ風まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト), ヒサクニヒコさん(漫画家), 平岩弓枝さん(作家), 福井崇人さん(2025PROJECT 理事), 福田豊さん(恩賜上野動物園園長), 藤木勇人(志いさー)さん(唸家), 古沢広祐さん(國學院大學教授), 前川貴行さん(動物写真家), 松田陽子さん(シンガーソングライター), 水野雅弘さん(株式会社TREE代表・プロデューサー), 三石初雄さん(帝京大学専門職大学院教授), 宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長), 村田浩一さん(日本大学生物資源科学部教授), 森川純さん(酪農学園大学名誉教授), 八千草薫さん(俳優), 山極 壽一(京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学), 山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長), 吉野信さん(動物自然写真家), 渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

50音順 敬称略

イベント 2018
 INFORMATION

「世界トラの日」
 にブース出展
 2018年7月29日(日)
 場所: 上野動物園

「世界ゾウの日」
 にブース出展
 2018年8月12日(日)
 場所: 上野動物園

ナマステ・インドア 2018
 2018年9月29日(土)、30日(日)
 場所: 代々木公園 B地区

ディワリ・イン・ヨコハマ 2018
 2018年10月(日は未定) 場所: 山下公園

インドのお祭り、トラ、ゾウのパネルやグッズを展示します。

JTEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

【年間サポーター費、随時寄附のお支払方法】

ゆうちょ銀行
 口座番号) 00170-7-355897
 加入者名) トラ・ゾウ保護基金

※年間サポート費(ご寄附)、随時の任意額ご寄附を年間2,000円以上くださいました方は、所得税の控除申告ができます。

☺ ホームページからクレジットカードでもご寄附いただけます。
<http://www.jtef.jp>

JTEFの活動を
 ご支援ください!



認定NPO法人
トラ・ゾウ保護基金
<http://www.jtef.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-5-4 末広ビル 3F
 Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090
 E-mail: hogokikin@jtef.jp <http://www.jtef.jp>
 郵便振替口座: ゆうちょ銀行 口座番号)00170-7-355897
 加入者名) トラ・ゾウ保護基金

イリオモテヤマネコ保護基金通信 vol.17
 発行日: 2018年6月29日
 発行人: 戸川久美
 編集: 坂元雅行
 デザイン: 土肥優子